

ヤップ島に現存する日本委任統治時代の建築物

正会員 辻原 万規彦*1
同 今村 仁美*2

南洋庁 ヤップ 校舎
官舎 巡查駐在所

1. はじめに

筆者らは、既に戦前期の南洋群島における建築組織について報告した¹⁾。それを受けて本報では、南洋群島ヤップ支庁(現ミクロネシア連邦ヤップ州)のヤップ本島に現存する日本委任統治時代の建築物に関する現地調査結果を報告し、それらが建設された時期を検討する。なお本報では、当時の用語、呼称をそのまま用いた。

2. マキ公学校の校舎

ヤップ本島トミル管区のマキ集落には、いわゆる「島民」向けの修業年限3年の教育機関である公学校が設けられていた。その開設の経緯は、以下の通りである²⁾。

「大正15年5月12日 南洋廳告示第五號を以て5月10日よりマキ公学校設置の旨告示された。(中略)

一方新校舎敷地をウギル管区マキ村に選定し、大正15年7月より工事に着手し、関係職員の奮勵と、島民の努力により、昭和2年2月19日新校舎が竣工し同日移轉し、翌20日より授業を開始した。」

この新校舎は、木造平屋建、建坪数82.9坪で、経費が5,276円かかり、同時に便所(木造平屋建、建坪数2.7坪、経費197円)、教員宿舎(木造平屋建、建坪数15.4坪、経費4,321円)も新築された。土地と建物の両方で、群島内でも比較的大きな公学校であった。

マキ公学校の校舎の遺構の実測図を図1に示す。実測図によれば、校舎の建坪は110坪で、後に増築されたことがわかる。これは、昭和6年度に建坪27.0坪、経費2,205円で増築されたものであり、写真¹⁾と実測図から新築時の校舎の左側に一部屋が増築されたことがわかる。

なお、他に校長官舎の遺構についても実測を行った。

3. コロニーの官舎

支庁庁舎がおかれていたヤップ本島コロニー周辺の幾つかの官舎もしくはその遺構の現存が確認された。そのうちRC造の二戸建て官舎の実測図を図2に示す。また、ヒアリングなどから推測した間取り図もあわせて示す。

昭和3年発行の写真集³⁾のコロニーの全景写真にこれらの官舎が写っていた。この写真には、昭和2年10月竣工のヤップ公学校校舎も写されているので、それ以降の写真であると考えられる。

また、大正14年12月15日に、台風により「家屋ノ流失670戸、倒壊974戸」の「言語二絶シタル」災害を受け、南洋庁は災害費を計上し、復旧に努めた⁴⁾。その際に、ヤップ公学校は、「過去の風害を鑑みて」、それ以

前の木造から鉄筋コンクリート平屋建てに改められ、昭和2年10月に竣工した²⁾。

官舎などについても、同時に木造から鉄筋コンクリート造に改められて再建されたと考えられるため、官舎も大正15年から昭和3年頃に建てられたものと推測される。

なお、ほぼ同時期に建てられたにもかかわらず、コロニーから離れたマキ公学校の校舎や官舎は木造であったことは注目に値する。

4. ガチャパル巡查駐在所

ヤップ本島ウギリ管区のカチャパル集落で確認された巡查駐在所の遺構の実測図とヒアリングなどをもとに推測した間取り図をあわせて図3に示す。この巡查駐在所の平面は、文献¹⁾で報告したアジア・太平洋資料室所蔵の設計図のうち『南洋廳巡查駐在所標準型設計圖乙號型』(南洋廳土木課、課長田吹、審査山下、設計製図仲摩、写図仲摩、昭和14年4月)の平面図(図4)を線対称に変更したものである。

建設時期については、昭和14年4月当時の資料⁵⁾には、存在が示されていないことから、それ以降に建てられたと考えられるが、今後の検討が必要である。

5. まとめ

ヤップ島に現存する日本委任統治時代の建築物に関する現地調査結果を報告した。なお、遺構が現存するとされているニフ公学校やコロニーにおける他の建築物については、稿を改めたい。

<謝辞>

ヤップの現地調査の際にはヤップ高校の大橋旦先生に多大な援助を頂いた。また、資料の収集にあたってはアジア・太平洋資料室の山口洋児室長に、情報収集にあたっては太平洋学会の中島洋専務理事にご助力頂いた。なお本報の一部は、平成13年度三島海雲記念財団学術奨励金、平成13年度科学研究費補助金(奨励研究(A)、課題番号13750557)によった。記して謝意を表す。

<脚注>

1) 矢野, 辻原, 平川: 南洋群島における日本人建築技術者について, 日本建築学会大会学術講演梗概集, pp.335~336, 2001.9.

2) 南洋群島教育會: 南洋群島教育史, 南洋群島教育會, pp.508~517, 1938.10

3) 天野代三郎: ヤップ島写真集, 天野商店, 1928

4) 外務省: 1927年度日本帝國委任統治行政年報, 外務省, p.94, 1928.9

5) ヤップ支廳: ヤップ島概要, ヤップ支廳, 1939.4

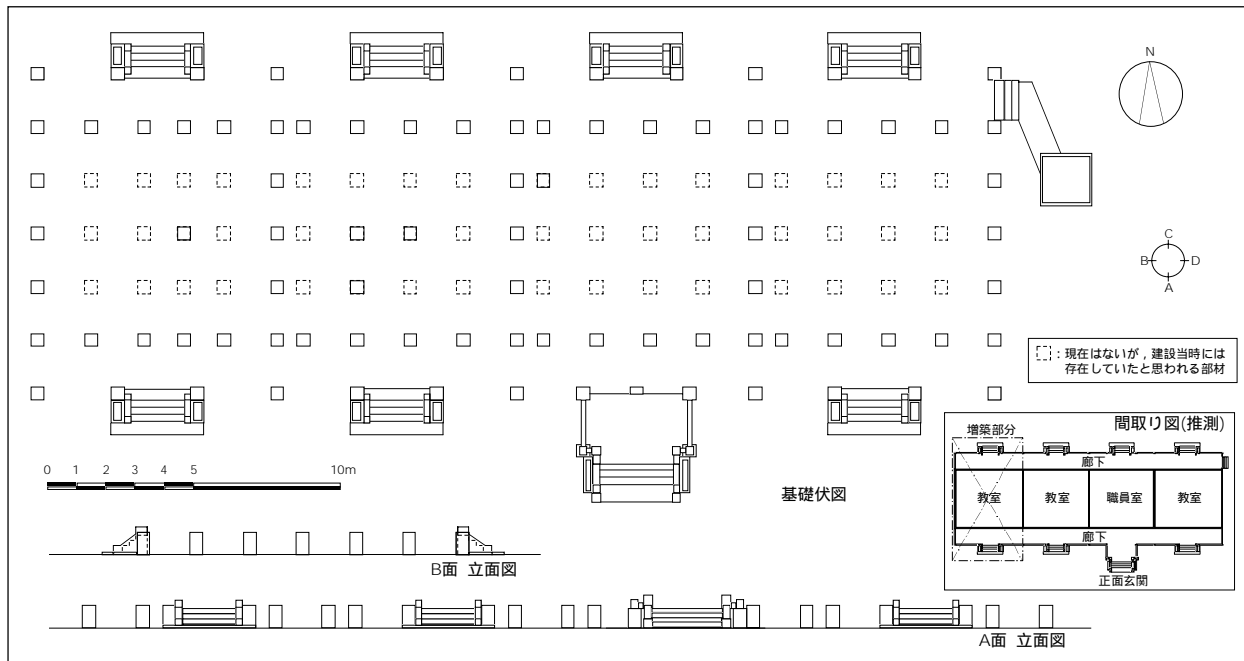


図1 マキ公学校校舎実測図



写真1 マキ公学校校舎

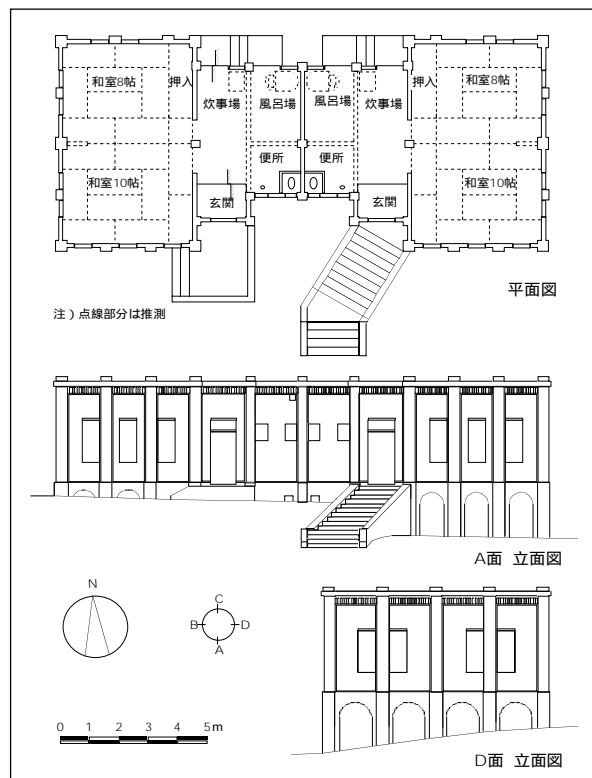


図2 鉄筋コンクリート造二戸建て官舎実測図

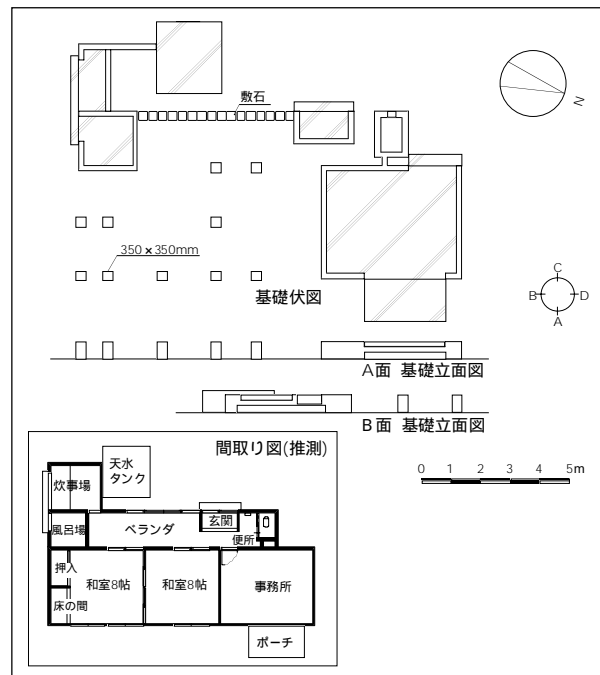


図3 ガチャパル巡査駐在所実測図

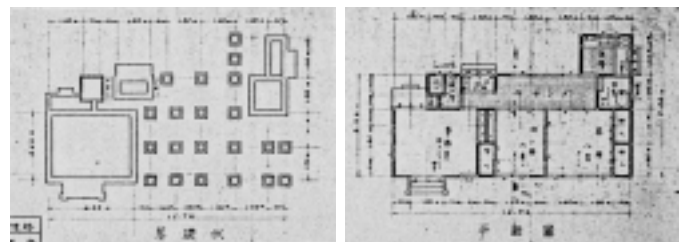


図4 南洋廳巡査駐在所標準設計図乙號型(一部)

*1 熊本県立大学 環境共生学部 講師・博士(工学)
*2 アトリエ・イメージ

*1 Lecturer, Prefectural University of Kumamoto, Dr. Eng.
*2 Atelier Image